

令和6年度

総務企画部の方針書

部名	総務企画部
部長名	小玉 幸平

1. 部の使命(ありたい姿)

政策実現のエンジンとなり、市民起点の幸せな地域社会の実現を目指す。	
担当政策	政策7:横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
担当施策	3-3:災害に強いまちづくりの推進 5-3:市民が利用しやすい公共交通の充実 6-3:情報を共有する環境の整備 7-1:住民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立 7-3:戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none">➢ 第3次横手市総合計画策定に向けたスタートの年➢ 新横手体育館整備事業の円滑な執行と新横手市民会館整備に向けた具体的な取り組み➢ 横手市地域公共交通計画の着実な推進➢ 行政DXの推進➢ 災害への対応と地域防災への取り組み➢ 多様な情報発信手段を効果的に活用する
--

3. 今年度の『スローガン』

業務遂行に横串を通そう ⇒ 人口減少・行政DX・情報発信・行政改革

4. 今年度の方針

<ul style="list-style-type: none">➢ 次世代へつなぐ事業を着実に進める。➢ 人口減少に負けないためのまちづくりに寄与する。➢ 安心して暮らせるまちづくりに寄与する。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	➢ 次世代へつなぐ事業を着実に進める。
	取組内容	・第3次横手市総合計画策定に向け、基本構想及び基本計画の方向性を決定する。 ・着工済である新横手体育館整備事業を円滑に進める。 ・新市民会館整備事業の推進(設計の見直し・中心市街地活性化基本計画の策定・暮らしにぎわい再生事業の活用など)
(2)	実現したい成果	➢ 人口減少に負けないためのまちづくりに寄与する。
	取組内容	・人口減少対策＝よこての未来創生プロジェクトの継続(新事業実施) ・地域公共交通＝新計画のスタート(JR北上線の利活用推進・角間川線のあり方など) ・行政DXの推進＝ガバメントクラウド構築や書かない窓口実現に向けた対応・行政手続きのオンライン化・デジタル田園都市国家構想交付金事業フォローアップと新たな活用 ・市の魅力発信の推進＝SNS等による多様な情報発信ツールや地域おこし協力隊の活用・友好都市交流
(3)	実現したい成果	➢ 安心して暮らせるまちづくりに寄与する。
	取組内容	・地域防災への取り組み＝シームレス避難所システムの活用・地域防災リーダー養成・災害要支援者含む災害関連情報の連携 ・市民に信頼される市役所へ＝市組織の庁舎移転事業・公共施設の使用料のあり方検討・本庁舎照明LED化等より良い庁舎管理・職員の能力や満足度向上の取り組み ・市民への市政情報の発信＝市報やコミュニティFMの効果的な活用・防災ラジオの不感対策など

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

上半期の取組状況については、概ね計画や目論見通りに進捗している。

■重点取組項目(1)

- ・第3次横手市総合計画策定に向け、審議会・策定委員会・策定部会を組織し、議論をスタートしている。
- ・市民会館整備について、見直し設計の方向性を決定した。また、中心市街地活性化基本計画策定に向け、活性化協議会を組織し検討頂いているほか、内閣府との協議や現地視察等の対応を行った。

■重点取組項目(2)

- ・よこての未来創生プロジェクト事業や北上線100周年関連事業を実施した。
- ・実証実験の結果を踏まえ、角間川線代替交通を廃止した。
- ・今後の窓口業務の見直しの方向性を四役や政策担当部長と共有した。(書かない窓口・窓口DXaaS)

■重点取組項目(3)

- ・大雨災害への対応(避難指示発令・シームレス避難所の運用・被災箇所への対応)
- ・庁舎移転、公共施設使用料の見直しについては実施完了

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

■重点取組項目(1)

- ・各レベルでの議論をとりまとめつつ、第3次横手市総合計画基本構想原案の答申を得る。
- ・市民会館整備事業の着工

■重点取組項目(2)

- ・国の補正予算(総合経済対策)への対応(新規)
- ・ガバメントクラウドへの移行と窓口業務関連のフローや手順等の見直し(BPR:ビジネス プロセス リエンジニアリング)の実施
- ・JR北上線利活用促進等にかかる秋田県・JR秋田支社との連携
- ・横手市LINEのリニューアル

■重点取組項目(3)

- ・大雨災害への対応の継続と冬季防災訓練等地域防災向上の取り組み
- ・庁舎移転、公共施設使用料の見直しのフォローアップと一部課題の解決
- ・庁舎LED化事業の完了

■その他

- ・事務ミス根絶のための取り組み(新規)

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

■重点取組項目(1)

- ・第3次横手市総合計画基本構想原案について、市議会との協議やパブリックコメントなどに取り組み概ね予定通りの進捗となった。次年度では基本構想の議決を得ることを最優先に引き続き審議会等での議論を重ねて計画全体の策定完了を目指す。
- ・新体育館の工事進捗については概ね良好である。引き続き工事品質の確保に努め、予定通り次年度完工を目指す。
- ・新市民会館の整備事業については、昨今の資材高騰による事業費増やそれに伴う財源の確保など総合的に検討した結果、残念ながら整備事業の一時中断を決定した。3月議会に提案中の市民会館整備のための基金条例を可決いただき自主財源の確保に努めつつ、事業再開に向けその機会を伺う。また、建設予定地の取扱いを国県等と調整していくことが当面の課題である。

■重点取組項目(2)

- ・国補正予算(総合経済対策)については1月臨時会及び3月定例会への議会提案を行い、本書記載時点においても迅速な事業執行に努力している。特に市民応援商品券事業については、議会から速やかに市民へ配布するよう求められており、その態勢を整えることが優先課題となっている。
- ・システム標準化やガバメントクラウドへの移行については、就学システムについて現システムの標準準拠が困難であり国が示す移行期間から遅れることとなったが概ね計画通りの進捗である。また、窓口DXの取り組みでは外部から窓口BPRアドバイザーを招聘し、窓口体験調査を実施して現状の課題を庁内で共有した。次の段階では課題を解消するための具体的な方策の検討に着手する。
- ・JR北上線利活用促進等について秋田県やJR秋田支社と各種の協議等を行った。次年度も100周年記念事業の継続実施や利活用の具体的な取り組みについて関係団体と協調していく。
- ・横手市LINEについてセグメント配信機能を追加するなどのリニューアルを図った。これにより相手が求める情報を個別に配信できるようになり市民満足度の向上が期待される。今後はその適切な運用と効果測定が求められている。

■重点取組項目(3)

- ・大雨災害への対応の継続及び冬季防災訓練等を実施し、地域防災向上に努めるとともに各種の防災関連計画の見直しを実施。引き続き平時からの危機対策に努める。
- ・庁舎移転関係では、移転後の不具合や事務環境の改善に対応した。特にかまくら館へ配置された課については本庁舎との距離が近くなり業務の効率化等が図られたものとする。
- ・庁舎LED化事業の完了に伴い執務環境の改善が図られるとともに、今後は経費節減の効果を求めていくこととなる。

■その他

- ・今年度は事務ミス等が頻発し公務に対する市民の皆様の信頼を損なう状況となった。事務ミス根絶を不断の取組とすべく「事務ミス根絶のための対策会議」を発足させ、発生状況やその背景等を幹部により共有し重大事案の発生防止に努めていく。